

## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 14 (当初計画: No. 14)

東北森林管理局

取組名	下北地域産材のブランド化を図るためのラベリング表示(継続)				
流域名	下北流域				
重点事項番号	①-13				
実施箇所及び実施日	木材市場 販売委託の都度実施				
取組の背景及び必要性	下北地域国有林内の特産樹種である天然青森ヒバの需要拡大のため、全国市場におけるブランド化を図る必要がある。				
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 素材生産請負業者や販売委託先等の各機関に協力を依頼し、ヒバ委託販売材に「下北地域産天然青森ヒバ」のラベルを貼付し出荷している。</p> <p>【平成24年度の取組内容】 関係各機関の協力により、これまでと同様に、出材したヒバ委託販売材にラベルを貼付した。</p>				
	<table border="1"> <tr> <td>国有林担当部局・役割</td> <td>下北森林管理署 企画(ラベル作成等)</td> </tr> <tr> <td>連携協働相手先・役割</td> <td>青森県木材協同組合、青森県森林整備協同組合 協力(ラベル貼付)</td> </tr> </table>	国有林担当部局・役割	下北森林管理署 企画(ラベル作成等)	連携協働相手先・役割	青森県木材協同組合、青森県森林整備協同組合 協力(ラベル貼付)
	国有林担当部局・役割	下北森林管理署 企画(ラベル作成等)			
連携協働相手先・役割	青森県木材協同組合、青森県森林整備協同組合 協力(ラベル貼付)				
取組の結果、反響、今後の課題等	ブランドを確立させるためには、息の長い取組が必要であり、今後もラベリングを継続していくと共に、あらゆる方法で下北産ヒバをPRし、知名度向上を図っていく。				
PRの実施状況及びその期待する効果	全国の市場に出荷されることにより知名度が向上し、全国的な需要拡大が期待される。				

【参考資料】

取組名 下北地域産材のブランド化を図るためのラベリング表示(継続)

○ラベルを貼付したヒバ材



## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 15 (当初計画: No. 15)

東北森林管理局

取組名	新たな作業仕組みに向けての検討会（継続）
流域名	下北流域
重点事項番号	②-21, ③-31
実施箇所及び実施日	青森県むつ市田名部字田名部山第一国有林137林班内 平成24年10月11日
取組の背景及び必要性	下北流域の事業体は、これまでも高性能林業機械の導入など効率化や低コスト化に努めてきているが、他流域に比べ木材の輸送コストが掛かり増しとなる不利な条件にあることから、更なる低コスト化を目指す必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】</p> <p>列状間伐と高性能林業機械との組合せによる効率的な間伐の作業仕組みについて、プロセッサやフォワーダによるデモンストレーションや意見交換を実施している。</p> <p>【平成24年度の取組内容】</p> <p>下北流域森林林業活性化センターとの共催により「低コスト作業システム現地検討会」を開催し、森林作業道の作設方法や列状間伐の伐採幅などについて、民有林関係者や林業事業体と現地検討を行った。</p>
	<p>国有林担当部局・役割</p> <p>下北森林管理署 (企画、実行)</p>
	<p>連携協働相手先・役割</p> <p>下北流域森林林業活性化センター (共催)</p>
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>室内検討会では、県内各地の青森県森林整備事業(協)青年部会会員が取組や工夫について情報提供し、意見交換等を行った。</p> <p>現地検討会では、列状間伐について、1伐2残、2伐4残の実例を現地で検証した。また、現行の3m幅をベースとする森林作業道上での高性能林業機械の効率的活用にかかる現場作業員・オペレーターの疑問・課題について、意見交換を行った。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>現地での検証や意見交換により、林業事業体の知識・技術・意欲向上に資することができた。</p>

【参考資料】

取 組 名 新たな作業仕組みに向けての検討会（継続）

○室内での情報交換



○現地での説明



○森林作業道の規格について意見交換



○列状間伐の伐採幅別検証

## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 16 (当初計画: No. 16)

東北森林管理局

取組名	漁民の森づくり活動推進事業植樹祭 (継続)
流域名	下北流域
重点事項番号	⑥-62
実施箇所及び実施日	青森県下北郡佐井村佐井字湯ノ川越国有林2284ろ林小班 平成24年6月22日
取組の背景及び必要性	漁業環境保全の一環として、佐井村内の漁業関係者が中心となり、分収造林制度による植樹と保育作業を平成15年度以降継続して行っている。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 漁業環境保全のため、青森県・佐井村・佐井村漁業協同組合の連携の下、漁業関係者等が参加し、上流域の分収造林地にブナ等の植樹を行っている。</p> <p>【平成24年度の取組内容】 佐井村との分収造林契約箇所内において、「平成24年度漁民の森づくり活動推進事業植樹祭」が開催され、佐井村漁協女性部など漁業関係者約100人が参加し、漁業関係保全のためブナ苗木400本を植樹した。</p>
国有林担当部局・役割	下北森林管理署 (フィールド提供、協力)
連携協働相手先・役割	佐井村 (企画、実行)
取組の結果、反響、今後の課題等	下北地区漁協女性部で組織された「AMLS協議会」のメンバーを始めとする多数の漁業関係者が参加しており、森林整備に対する関心の高さが伺える。
PRの実施状況及びその期待する効果	植樹や保育作業等を継続して実施することにより、漁業環境保全のために森林が果たす役割や重要性についてのPR効果が期待される。

○記念標柱の設置



○植栽されたブナ苗木



### 漁民の森づくり活動推進事業植樹祭

6月22日（金）、大佐井地区で植樹祭が開催されました。この事業は海や川の環境を保全し、水産資源の維持回復を図るとともに、豊かで美しい自然を残す目的で行われています。

当日は、地元の漁師や漁協女性部をはじめ、下北地区漁協女性部で組織された“AMLS協議会”メンバーなど合わせて約100人が参加し、ブナの苗木を400本植樹しました。



○「広報さい」平成24年7月号より

## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 17 (当初計画: No. 17)

東北森林管理局

取組名	下北地域森林・林業関係打合会 (継続)
流域名	下北流域
重点事項番号	⑥-63
実施箇所及び実施日	青森県むつ市内 平成24年6月6日
取組の背景及び必要性	下北地域の関係行政機関が一堂に会し情報交換や意見交換を行うことにより、各施策をより効率的・効果的に進めることができる。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 下北地域の各市町村長、下北地域県民局地域農林水産部と当署が一堂に会し、当該年度の行政方針や事業計画、懸案事項などについて、情報交換や意見交換を行っている。</p> <p>【平成24年度の取組内容】 当署が事務局となり、むつ市内において打合会を開催し、下北地域の関係行政機関の代表が出席して情報交換や意見交換を行った。</p>
国有林担当部局・役割	下北森林管理署 (企画、実行、協力)
連携協働相手先・役割	下北地域県民局地域農林水産部 (企画、実行、協力)
取組の結果、反響、今後の課題等	地域の行政機関のみが顔を合わせて情報交換を行う機会は大変貴重であり、今後も継続的に開催していく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	関係機関との情報の共有化が図れ、各施策をより効果的に進めることが期待される。

【参考資料】

取 組 名	下北地域森林・林業関係打合会（継続）
-------	--------------------

○ 打合会の様子





## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 18 (当初計画: No. 18)

東北森林管理局

取組名	ヒバ林の育成活動(継続)
流域名	下北流域
重点事項番号	⑤-54
実施箇所及び実施日	青森県むつ市奥内字奥内第一国有林240い4林小班 平成24年6月14日
取組の背景及び必要性	ヒバは全国の約8割が青森県の国有林内に分布しているが、下北地域ではヒバの収穫量及び供給量が減少傾向にあることから、ヒバ林の造成及び周辺地域を含めた森林整備を実施し、ヒバ資源の充実を図る必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 関係機関・関係団体・一般応募者や地元小学校の生徒などの参加の下、むつ市と共催で育樹祭を開催し、ヒバ造林地とその周辺部の育樹作業を実施している。</p> <p>【平成24年度の取組内容】 関係機関・関係団体・一般応募者や地元小学校の生徒などの参加の下、むつ市と共催で育樹祭を開催し、ヒバ造林地に隣接するスギ林の枝下ろしや間伐作業を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	下北森林管理署 (企画、実行)
連携協働相手先・役割	むつ市(共催)、下北地域県民局地域農林水産部(協力)
取組の結果、反響、今後の課題等	国有林のみならず民有林においてもヒバ林の造成が進むよう、郷土樹種であるヒバの特性や優位性を広く地元にアピールしていく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	育樹祭の様子が県内のTVニュースで放映され、参加者以外の一般市民に対しても、緑化意識の高揚と国有林のPRが図られた。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	ヒバ林の育成活動（継続）
-------	--------------

○ 生徒代表による「みどりの誓い」



○ 記念撮影



## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 20 (当初計画: No. 20)

東北森林管理局

取組名	下北森林管理署モニターによる国有林視察（継続）
流域名	下北流域
重点事項番号	④-43、⑥-61
実施箇所及び実施日	【第1回】 下北郡大間町奥戸字二股山国有林 H24.7.24 【第2回】 下北郡東通村田屋字大平滝国有林外 H24.11.21
取組の背景及び必要性	近年、国有林と地域住民との結びつきが薄れてきていることから、地域住民に国有林への理解と認識を深めてもらうと共に、地元の意見や要望を把握する機会が必要である。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 国有林の現地視察を年2回程度実施し、造林・生産・治山等の各現場や保護林などを視察すると共に、情報提供や意見交換等を行っている。また、署主催イベントへの案内を行っている。</p> <p>【平成24年度の取組内容】 国有林の現地視察を年間2回開催し、林道・治山の各現場や保護林などの視察のほか、情報提供や意見交換などを行った。また、署主催イベント（育樹祭等）への参加案内を行った。</p>
国有林担当部局・役割	下北森林管理署 (企画、実行)
連携協働相手先・役割	
取組の結果、反響、今後の課題等	モニターの任期は3年間であり、現地視察の内容がマンネリ化しないよう工夫していく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	地域住民に国有林への理解と認識が深まると共に、地元意見や要望が収集できるものと期待される。

【 参 考 資 料 】

取 組 名 下北森林管理署モニターによる国有林視察（継続）

- 第1回現地視察の様子（H24.7.24）



- 第2回現地視察の様子（H24.11.21）



- 情報提供・意見交換の様子（H24.4.17）



## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 21 (当初計画: No. 21)

東北森林管理局

取組名	地元自治体等主催イベントでの森林整備等に関する普及活動 (継続)
流域名	下北流域
重点事項番号	①-13、⑥-63
実施箇所及び実施日	青森県むつ市脇野沢 地域交流センター 平成24年11月4日
取組の背景及び必要性	国有林野事業の場合、通常業務だけでは地元住民と接する機会がほとんどないことから、地元自治体主催のイベントへ積極的に参画し、森林整備等に関する普及啓発を図る必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 「わきのさわ・かさまい」まつりに協賛し、「元祖与作選手権大会(丸太の早切り大会)」を開催すると共に、他のイベントにも職員が積極的に参加している。また「木のふれあいコーナー」を設置し、森林整備等に関する普及啓発を図っている。</p> <p>【平成24年度の取組内容】 11月4日にむつ市主催で開催された「わきのさわ・かさまい」まつりに協賛し、「元祖与作選手権大会」を開催すると共に「木のふれあいコーナー」を設置した。</p>
国有林担当部局・役割	下北森林管理署 (「かさまいまつり」への協賛、「与作選手権」の企画・実行)
連携協働相手先・役割	むつ市 (「かさまいまつり」の企画・実行)
取組の結果、反響、今後の課題等	「わきのさわ・かさまい」まつりを含め、今後も地元のイベントに積極的に参画し、森林整備の必要性等についてPRする機会を増やす必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	「木のふれあいコーナー」では、森林整備等に関するパンフ等により国有林のPRを図った。また、訪れた児童が板に絵を描いたり、木製玩具で遊ぶ等、木製品に親しむ様子が見られた。

【参考資料】

取組名	地元自治体等主催イベントでの森林整備等に関する普及活動 (継続)
-----	-------------------------------------

○ 「わきのさわ・かさまい」まつり（元祖与作選手権大会）の様子



○ 「木のふれあいコーナー」の様子

